

ひたちなか市第5次男女共同参画計画(案)に対する
パブリック・コメントの結果について

No	意見の概要	市の考え方
1	数値目標・KPI の明確さが不足 指標が本文に散在し、全体として何をどこまで改善するのかが把握しづらいです。 改善提案:卷末に「成果指標一覧表」を作成し、現状値・目標値・年度を一目で確認できる構成にする。	ご意見のありました「成果指標一覧表」については、数値化できる事業において具体的な指標・目標値として「9 事業の指標及び目標値」に記載しております。
2	ターゲット層の具体化が不足 若年層、男性ケアラー、外国ルーツ住民など、支援が必要な層の課題が十分に書き分けられていません。 改善提案:「重点的に支援すべき層」を明示し、ライフステージ別・属性別の施策を整理する。	男女共同参画社会を形成するためには、性別にかかわらず、すべての人が生きやすく、活力ある社会を形成するために一人ひとりが意識を持つことが重要となります。そのため、基本目標とともに主要課題と施策の方向を設定した体系としております。その上で各施策において、支援が必要な層に対応した計画としております。
3	推進体制・評価方法が抽象的 誰が・いつ・どの指標で評価するかが不明確で、PDCA の仕組みが見えにくいです。 改善提案:年次報告、中間評価、推進会議などの評価サイクルを図示し、役割分担を明確化する。	施策の進捗状況を毎年公表し、審議会において確認を実施します。計画及び個別の施策について1年ごとに定期的に評価するとともに、適切な見直しを行い効果的な推進に努めることを「10 推進体制の整備」に記載しております。
4	当事者参画の仕組みが弱い 計画策定後に市民や当事者の声をどう反映するかの仕組みが十分に示されていません。 改善提案:DV 当事者、子育て世代、事業者、性的マイノリティなどが参加する継続的な参画の場を推進体制に組み込む。	男女共同参画センターを運営し、市民や民間団体の活動を支援するとともに、女性の相談窓口を設置し、DV だけでなく女性の様々な相談に対応しております。また、当事者、事業者、団体と連携し必要に応じた事業の展開を図ります。
5	社会変化(コロナ後・物価高・非正規雇用など)との接続が弱い 現代的な課題との関連付けが薄く、施策に必然性が伝わりにくいです。 改善提案:働き方の変化、女性の経済的困難、DV 増加などの最新動向を背景に追加し、施策の根拠を強化する。	コロナ禍を経てリモートワークなどの柔軟な働き方が推進される一方で、非正規雇用などとの経済的格差をなくすための施策も必要とされています。女性の所得向上と経済的自立の促進に向けた背景についてご意見を参考に検討してまいります。
6	施策の優先順位がみえにくい 重点施策は示されていますが、どの施策が「最も効果が大きいのか」が読み取りにくいです。 改善提案:重点施策に対して「期待される効果」「優先度」を簡潔に付記し、戦略性を高める。	前計画で5点あった重点施策を見直し、第5次計画についてはより実効性のある計画となるよう3点に絞りました。男女共同参画社会の形成に向けた意識の醸成を図るために、いずれも重要な施策であることから、バランスよく取り組むことが肝要であると考えます。